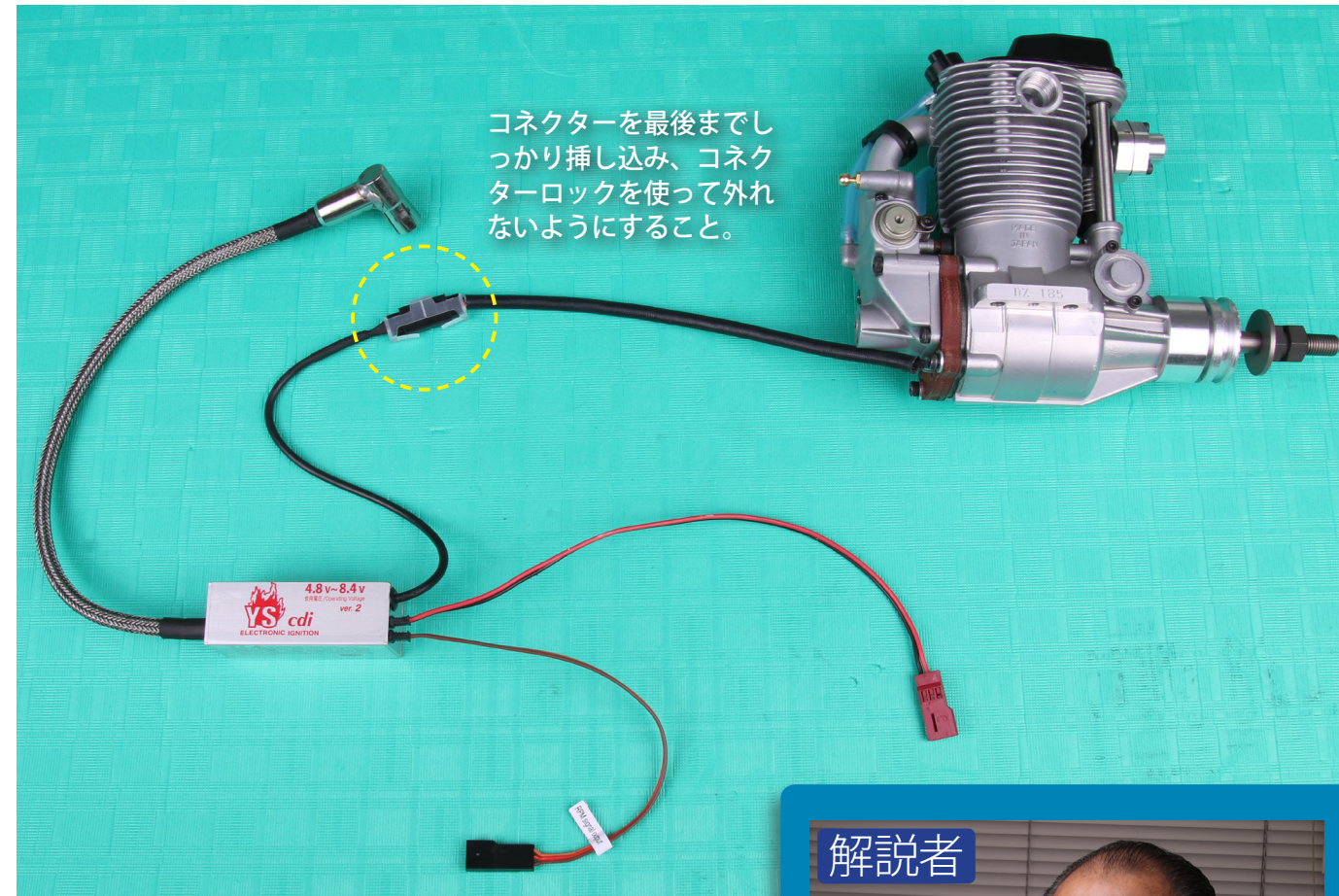
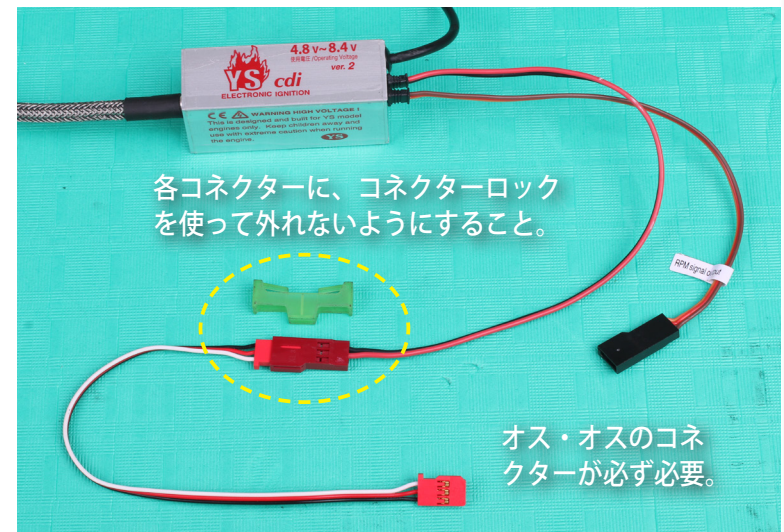


**CDIの注意点とは…!/?** **コネクタは最後までしっかり挿し込むこと**

エンジンから出ている「回転センサー」のコネクタは、イグナイターのコネクタに確実に挿し込み、コネクタロックを使って固定すること。



エンジンの運転中に連続失火する場合は、電気系統のトラブルが多いという。これを解決するには、各コネクタの接触を確認すること。つまり、コネクタの最後まで確実にしっかり挿し込まれているか…ということを確認することである。また、エンジンが始動して数分後にエンストする場合や連続失火する場合は、エンジンの中に埋め込まれている「回転センサー」のトラブルが多いという。この場合は、「リヤカバー」をメーカーに出して交換してもらう方がベストだと思う。



**解説者**

**YSドクター 近藤均氏**



YSエンジンの開発に長年携わっている近藤均氏。どんな症状のエンジンも修理してしまうことから「YSドクター」と呼ばれるようになり、全国から多くの支持を得ている。近藤氏自身もF3Aの選手権フライヤーで、現実的な実践派の技術者である。

**プラグキャップの注意点** **プラグキャップをしっかりと固定すること!**

エンジンヘッドには、プラグキャップが振動の揺れで動かないように長いイモネジが仕込まれているので、しっかり固定すれば問題ない。



CDIエンジンで気を付けることは、コネクタの接触不良とプラグキャップの取り付けである。この2つの要素さえ解決していれば、トラブルはほとんどないという。ちなみに、プラグの隙間は「0.35mm」に調整すること。0.3mm以下だと「スロー側」で失火し、0.5mm以上の隙間がある場合は「ハイ側」で失火しやすい…というデータがあるので参考までに。